

聞き捨てならぬ父兄の聲

目白幼稚園 和田 實

幼稚園に對して、世の父兄の註文するところ、我子に對して、斯くして欲しいと云ふことは、随分、色々なことが

ある、或は、宅の子供は行儀が悪くて困る。幼稚園でもつみ、行儀を仕付けて欲しいとか、幼稚園へ出してから、

言葉遣ひが悪くなつた、幼稚園は、もつみ、言葉遣ひを正しくす可きであるとか、或は、新教育の思潮に棹して、も

つみ作業主義を徹底させよとか、個性教育をもつみ盛んにせよとか、まあ色々な註文がある。何れも、一應は、尤なところで、無氣に排斥す可きものでもないが、去りて、何れを探つて何れを捨つ可きが、取捨選擇、乃至は盛り合せには相當に考慮を要するところ勿論である。

併し、是等の要求や新思想は今始めて聞く譯ではないから、別段、驚きもせず、慌てもしないところで、其中最も、吾輩の氣になるのは、次の二項である。

一、幼稚園へ子供を出すに傳染病を負つて來るので困る。それで、宅では幼稚園へ子供をやらぬ。

二、宅では幼稚園へは、子供を就學前の一ヶ年しかやらぬ。餘り早くから、幼稚園へ出すに就學前の肝心な時になつて、子供が幼稚園に倦きて行きたがらぬで困るから。

云ふ二つの傾向である。是は、實に、幼稚園の痛いところを指されたもので、私は内心に非常な衝撃を感じて居る譯であります。今其理由を少し述べさせて貰ひませう。

實際に於て幼稚園は、實に、能く、傳染病の媒介をして居ります。麻疹でも、百日咳でも、水疱瘡でも、大抵な小兒傳染病は、今日は、重に幼稚園から、擴けて行くに云つても、過言ではありません。是は父兄に採つては、容易ならぬことで、憶病の結果は幼稚園に子供を出したくなく

なるのも、一向無理ではありません。併し、是が爲めに幼稚園へ子供を出さぬ云ふことは、此一つの弊害の爲めに幼稚園教育の効果を抹殺するところで、是はちよ、角を撓めて、牛を殺す類の仕方ではないでせうか。傳染病を傳播する媒介となるものは、何も幼稚園に限るものでありません。幼稚園に出さずに、近所の子供を遊ばせて置けば、矢張り同じ様に種々の傳染病を感染して來ることは、決して、幼稚園と異なるものではありません。若し、幼稚園に出すことが、傳染病感染の恐れがある云ふならば、近所の子供を遊ばすことも、亦同様な恐れがある云はなければならず、従つて、幼稚園に出さぬとすれば、同様に近所の子供を遊ばすことも、止めなければ、趣旨は徹底しないことになりませう。然るに、子供を幼稚園にも出さず、近所の子供を遊ばせもしないことなるを、果して、夫れで、幼児教育を完成することが出来るや否や、大に疑はしいことになりませう。否、幼児教育は到底、完成することは出来ないでせう。して見れば、何も、幼稚園だけを恐れる必要はないことになりませう。併し、私の痛い感ずるのは、既

に、幼稚園が小兒傳染病に對して相當、危険性を持つて居るのであるから、幼稚園經營者としては、此點に關して、萬遺漏なき、豫防、消毒、の施設をして居るか、云ふことに對する自己反省の結果なのであります。私は、自分で私立幼稚園を經營して、茲に、二十年になります。其間隨分此點には注意して、幼稚園が斯る不幸な媒介をする様子では、申譯ないことであるから、常に、小心翼翼として、幼稚園の清潔、玩具其他の消毒には相當注意をして參りました。お蔭で大した失敗もありませんでしたが、唯一度、園児が通園中に傳染病に感染したことがありました。夫れは一昨年のことでしたが、何處からか、猩紅熱を感染して來た子供が、父兄も氣付かず、勿論、吾々も氣付かぬ中に、同じ机に座つて居た友達三人にうつして居たことで、最初の一人が發病するを、引續き次ぎ／＼三日乃至一週間を置いて、他の三人即ち同じ机に向き合ひ、隣り合つて居た他の三人だけが、順々に發病して、幼稚園は其爲めに四度の大掃除、大消毒をしなければなりませんでした。幸に、傳播は此三人だけでしたので、ホツシしました

が、唯の一度でも斯様の事實があるに、何も夫れが、幼稚園自身の過失でも、責任でもありませんが、如何にも子供に對して、また、父兄に對して、氣の毒の感に堪えず、何ミかして、幼稚園の衛生施設を、もつて完全にする必要がありはしまいかこの感を抱かすには居れません。最も、斯る場合、何も幼稚園だから、三人も傳染者を出した、幼稚園でなければ、夫んなに傳染はしまいか云ふ様なものではなくて、寧ろ、幼稚園だから、三人で食ひ止め得られたので、近所の子供の自由放任の遊び仲間の出來事であつたにしたら感染者が五人になるか、十人になるか、判つたものではなかつたに、云へるでせうから、幼稚園が出來るだけの豫防、警戒の手段を盡して居る以上、何も幼稚園に何等の責任はないとは云へ、斯る不詳事の度々起らぬ様萬全の策を講ずるは當路者として、當然の任務と云はねばなりません。然るに、私立經營の悲しさには、園醫、看護婦等をして、充分、其任務を果さしむるだけの費用がない。従つて、吾々素人が常識的に出來るだけの努力を以て、園醫の指揮する處に従つて、掃除、消毒等を努めるに過ぎないのは如何にも物足りなく、申譯ない様な氣がします。最

も、現在の幼稚園で、最も衛生設備の完備して居る所とした所で、衛生室が完備して看護婦が、常任して居る程度だけですが、是だけでも、一般に普及するとしては、大變な費用でせう。従つて、個人の經營する幼稚園としては中々困難なことであります。吾等は其必要を痛切に感じながら、貧弱な經濟の悲しさに泣くばかりである所に、前記の様な父兄のくり言を聞かされるので、痛い所を觸られた感が深い譯であります。吾等はモット／＼奮發して、幼稚園の衛生施設を完備せねばならぬことを痛感するのであります。

次には、第二項の、子供が幼稚園に倦きることを云ふことで、父兄の此種の意見は、相當の範圍に擴がつて居るらしいので、聞き捨てになりません。併し、私の三十年來の幼児教育の經驗から論ずれば、保育者に相當の素養があり、相當の教育愛と努力とがあるならば、斯様な苦情を受ける筈は決してないと思ひます。子供が幼稚園に通ひ倦きる所か、反對に子供は幼稚園に通ふことが長くなればなる程、益々幼稚園の仕事に興味を以て、通ふ様になる筈だと思ふのであります。現に、私の經驗する所では、永く通園して來た子供程、教育の効果は著るしく、子供は幼稚園に

來るこゝを唯一の樂しみとして日曜の休みも惜しいと云ふ程に熱を以て來るのが、普通であります。未だ嘗つて、子供が幼稚園に行くこゝに倦きて來ましたと云ふ報告を得たこゝはありません。然るに、世間には斯る事實が相當にあるらしいのです。如何にも不思議なこゝですが、併し、考へて見れば無理もないと思はれる事實があります。夫れは、宗教的幼児教育を主眼として居る幼稚園で、能く見るこゝですが、毎日、一定の宗教的儀式を嚴重に行ふばかりでなく、フレーベル式恩物の舊式使用法を嚴然と守つて、子供に自由を與へない様な保育をして居り、そして、一年中の保育材料が殆んど一定して居て、夫れを年々に繰り返すのみで、何等清新味を持たぬと云ふ遣り方の幼稚園が相當に多いこゝであります。即ち保育法が死んだもので、唯、從來の仕來即ち習慣を繰返すに過ぎないと云ふ様な所が、存外に多數あるこゝであります。是は「幼稚園本來の使命が幼児の生活の擴張に應ずる積極的施設其ものになければならぬ」と云ふこゝを忘れて居るこゝの誤れる保育でありますが、斯る停滞した保育の爲めに、幼児の折角の伸展力を歪め、遂には幼児をして、幼稚園以外に、自己の生

活の擴張を試みしめることなるのではなからうかと思ひます。或はまた、保育者の眼が行き届かないで、幼稚園内に於ける一部勢力ある幼児の横暴振りを管理する上に、遺憾の點があつて、氣弱の幼児が夫れ等の強氣なものに、いつもくも壓迫されるこゝの不快から逃れやうとする爲めに起るこゝかも知れません。何れにしても、保育者の腕の不足や頭の働きの足りない所から來るこゝの結果で、決して、幼稚園其ものゝ本質上から來る缺陷ではないのでありますから、保育法其ものを改良するこゝに困つて、充分弊害を除去するこゝが出来ることは思ひますが、併し顧みて「汝自身果して、常に、清新味豊かな保育施設をして居るか」と問はれたらば甚だ汗顔の至りで、冷汗三斗を腋下に感ずる次第であります。幼稚園本來の使命が、幼児の生活の擴張に應ずる點にありしならば幼稚園は常に、幼児の生活が何を要求して居るかを、考查して、其純正な要求を如何にして満足せしむ可きかに就いて、不斷の努力をしなければならぬ筈ですが、實際は中々さう思ふ様には出來ないのが、如何にもお恥かしい次第です。是も亦、貧乏な私立幼稚園の悲しさですが、聞けば京

都のある幼稚園では幼稚園が自動車一臺を所持して居て、毎日交代に幼児の幾人宛かを園外に連れ出して、限られた幼稚園の廣さから、幼児を解放して郊外保育をして居る云ふことです。何んぞ實に羨ましいことではありませんか。

大阪では自然幼稚園が盛んに是を實行して居られる様ではありませんか。實に、今日は最早是を夢に見たり、愚痴つたりして居る時代ではないと思ひます。何さかして實行しなければならぬ時代だと思ひます。吾々も、疾くの昔に、其必要を感じて居ました。居ましたけれども、及びもつかぬ猿の水月さあきらめて居たのです。あきらめて居る中に、年月はぎんぐ経過して仕舞いました。今日は最早あきらめて居る時代ではありません。何さかして實現しなければならぬ時代になりました。が併し、悲しいことには先立つものがありません。夫れで、手も足も出ないのです。何さかもしかしいことせう。此一つだけでも、幼稚園が積極的に施設することが出来れば俄然として全體の保育が生きて来ること請合です。最早、色々な觀察材料なき馳けずり廻はつて探すことは要りません。手技手工の生きた材料は有り餘る程得られるのです。子供の見聞はぎんぐ擴がります。其上に野外保育の効果は體育の上にも、忽ち、大な

る貢獻を持ち來します。子供はめきぐ三色つやは善くなり、健康は増して來るでせう。假令、一回の園外保育に五圓(自園の車があれば此位の費用で充分に郊外保育が出來ます)の費用を要することも月に一二回は實行出來るでせう。して見れば數箇の幼稚園が協同すれば案外實行も難事ではないと思ひます。此位の奮發は今日は最早夢に見て居るさきではない様です。私は保育の積極的施設の一つとして、眞先に是を實行したいと思ひます。是を實行することに因つて、兎角、退嬰的施設に甘んずる様な保育法を改良することが出來はしまいかと思ふのであります。

以上、衛生的施設を完成することゝ園外保育上の必要物たる交通機關を幼稚園自身設備することゝが、目下の幼稚園に、最も喫緊の新設備ではないかと思ふのであります。此頃編輯の方から、目下の幼稚園に對する要求は何かと問はれたに對して、常日頃、夢に見て居り、もさかしく思つて居る所を述べた次第で、云はゞ、私の幼稚園の缺陷を我自ら曝露したに過ぎませんが、併し、御同様な感じを持つて居られる方も相當ありはしないかと思つて、何時かは御相談して、お互に協力する時もないではなからうと思つて居る次第であります。